

別表一覧

項目	月日	内容
1	2016/6/12	ウィキリークスのアサンジが英国のITVとのインタビューで、「ヒラリー・クリントンに関するEメールを入手しており、近く公表する」と発言。
2	2016/6/14	民主党全国委員会が、「自分たちのサーバーがハックされた」との声明を発表。
3	2016/6/15	グシファー2.0と名乗る者が、ハッキングの責任は自分たちにあると発表。
4	2016/7/18	グシファー2.0が、文書の公表を開始。公表された最初の5つの文書にはロシアの関与を暗示するような表現（キリル文字など：筆者注）が含まれていた。
5	2016/7/22	ウィキリークスが2万通を超す民主党全国委員会の内部メールや文書の公開を開始。公開された中にはサンダース大統領候補についての否定的な内容や選挙運動の妨害を匂わせるワッサーマン・シュルツ委員長のメールも含まれていた。グシファー2.0が自分たちがウィキリークスの情報源であると主張。
6	2016/7/24	全国委員会のワッサーマン・シュルツ委員長が辞任。（彼女は翌日にヒラリー・クリントンの選対本部に採用されている：筆者注）
7	2016/7/25	民主党全国大会が開幕。アサンジは自分たちがハックしたのではなく内部からのリークであると主張。
8	2016/10/7	オバマ政権が、初めて公式的に、ロシアが大統領選挙を標的にしたサイバー攻撃を行っているとは非難。国家情報長官クラッパー、国土安全保障省長官ジョンソンが「このような運動（攻撃：筆者注）の範囲と重要さから判断して、このような活動についての承認を与えられるのは、ロシアの最上級の役人であると我々は信じる」との声明を発売。（これは「確信」に基づくもので、その後本件に関する具体的証拠は公開されていない：筆者注）
9	2016/10/8	ロシア外務省は、ハッキングをしたという非難には証拠がなくこれは反ロシアのヒステリーを煽るためのものであると反論。
10	2016/10-2016/11/6	ウィキリークスがクリントンの選挙管理者であるポデスタのメールアドレスから5万通を超すメールを公開。アサンジは内部告発者からのリーク情報であると再度主張。
11	2016/11/8	米国大統領選挙。
12	2016/11/18-20	ロジャース国家安全保障局長官は、ハッキングされたメールの公表は2016年の大統領選挙に影響を与えなかったと発言。
13	2016/12/9	ワシントンポストとニューヨークタイムズが、「本件についての政府職員の説明によれば、CIAによる秘密裏の調査の結果の結論は、ロシアがトランプを支援するために2016年の選挙に介入した、ということである」と報道。同日に英国のガーディアンも同旨の報告。しかしガーディアンはアサンジに近い元英国大使の言として「CIAの主張はでたらめだ。自分は情報をアサンジにリークした人物に会ったがロシア人ではなく内部の人間だった。本件はハッキングではなくリークである」と報道。
14	2016/12/9	オバマが2008年に遡ったロシアの選挙干渉を調べるよう指示。ブレナンCIA長官がワシントンポストに対し、選挙にロシアが介入したという証拠があると発言。CNNが、FBIはロシアによるハッキングがあったとは思っていないと報道。
15	2016/12/10	「インターセプト」のレポーターが「CIAの主張を裏付ける証拠は全くない」と報道。
16	2016/12/11	マケインなど4名の上院議員が、大統領選挙に対するロシアの干渉に関する調査を要求する共同声明。
17	2016/12/12	ナンシー・ペロシの娘他10名の選挙人がクラッパー国家情報長官に、ロシアが2016年の大統領選挙に干渉したか否かの確認を求める公開書簡を発売。グリーン党のシュタイン候補がウィスコンシン、ミシガン、ペンシルバニアの得票の再集計を要求。ウィスコンシンは再集計したが差が拡大。2州は再集計期間経過などで行われず。
18	-	VIPS (Veterans Intelligence Professional in Sanity) がハッキングを行った者、対象及び場所は容易に突き止められるはずと指摘。クラッパー国家情報長官はロシアがトランプ支援に目を向けていたと結論付ける証拠はないと信じていると発言。
19	2016/12/18	下院諜報委員会メンバーのキング下院議員が、ブレナンCIA長官がワシントンポストに対し下院諜報委員会へ報告していないことをリークしており彼が調査の対象とされるべきと発言。
20	2016/12/19	選挙人団の投票
21	2016/12/30	ワシントンポストが、ロシアのハッカーがバーモントの公益事業から米国の配電網に侵入したとの証拠が見つかったと報道。バーモントの公益事業体はワシントンポストの記事の1時間半後に記事の内容を否定する発表を行った。
22	2017/1/6	CIAとFBIが、「ロシアの諜報機関が米国の政党のコンピューターシステムに侵入しウィキリークスにEメールをその後送ったことについて高い確信がある、という報告を公表。国家情報局は他の2つの機関よりは確信の程度は低かった。
23	2017/1/18	オバマが大統領としての最後の会見で「ロシアの諜報機関が民主党全国委員会から得た情報をウィキリークスに流したことについて、強い確信があるとした1月6日の諜報機関の評価は結論ではない」と述べる。
24	2017/7/24	VIPSが「ロシアのハッキングはインサイダーの仕業では？」との大統領宛てのメモで、インサイダーの仕業であることを示す専門技術的な証拠を提示。その内容は、 <ol style="list-style-type: none"> アサンジが2016年6月12日に発表しウィキリークスが2016年7月22日から公開を始めた内部からのリークによる民主党全国委員会の内部メールや文書の公開の目的は全国委員会のクリントンに対する強い好意を暴くことにあった。 2016年7月5日に行われた別のリークはウィキリークスが将来公開するかもしれないものは全てロシアによるハッキングによるものであるということをも前もって印象付けることに目的があり、この後者のリークはグシファー2.0によるものである。 2016年7月5日に行われたリークは9月13日にグシファー2.0と称する者によって揭示された。これにはキリル文字でロシアの秘密警察の創設者のファーストネームやミドルネーム、チェ・ゲバラに代えてエルネスト・チェというようなロシアと関係づける要素が付け加えられていた。 2016年9月13日グシファー2.0と称する者によって揭示されたデータを鑑定した結果分かったことは、民主党全国委員会のデータが情報保管装置にコピーされたスピードは遠距離からのハッキングのインターネットの能力を遥かに超えるものであるということであった。 同程度重要なことは、鑑定したところ、コピーと修正は米国東海岸で行われていた。
25	2017/8/9	VIPSの主要メンバー4名にインタビューを行った後、雑誌のネイションにローレンスがVIPSの結論を支持する報告を掲載。
	2017/8/11	ブルームバーグにベルシドスキーによるVIPSを支持する意見が掲載される。

26	2017/12/2	ムラー特別調査官の調査担当のトップであるストルザックが反トランプ、親ヒラリーのメールを選挙期間中にFBIの副長官マッケイブの部下である愛人ページとの間に交わっていたため調査担当から外されたとの新聞報道を受けて、下院諜報委員会のヌネス委員長が、「司法省ローゼンシュタイン副長官とレイFBI長官を対象にした議会侮辱決議の起案を開始するよう委員会スタッフに命じ、これまでの委員会の全ての要求にFBIと司法省が12月4日までに対応しない場合にはこの決議を月末までに提出する」との声明を発表。上記声明においてヌネス委員長は、司法省とFBIが、数か月にわたって議会の憲法上の監督義務、特にスティール文書の使用に関する監督義務を意図的に妨害してきており、ストルザックの解任報道後に両者は急に議会の長期にわたる要求に一部応じる姿勢を見せ始めたが、このような態度の変化は信用できないと声明している。
27	2017/12/7	下院諜報委員会にレイFBI長官が出席。この席でムラー特別検察官のチーム全員が親オバマ、親クリントン、反トランプであることが明らかになった。ムラーチームの3名はメールで上記のような性向を明らかに示していたし、他のメンバーはオバマやクリントン或いは民主党の選挙運動のみに献金していた。ストルザックが秘密連邦裁判所からトランプの選挙運動を調査するための令状を出してもらうためにスティール文書を使った点に問題があると委員会は指摘。スティールが2015年の選挙期間中に司法省の幹部に紹介されており、ローゼンシュタイン司法副長官の第一補佐官であるオーアと少なくとも1回面会していること、また、スティールに文書の執筆料をオバマ／クリントンの選挙資金から支払ったフュージョンGPSのシンプソンともオーアが同時期に会っていたことを諜報委員会は証明した。オーアはこのような明白なバイアスのために、司法副長官補というムラーの調査チームで3番目のポストを失った。
28	2017/12/12	ローゼンシュタイン司法副長官が90ページに上るFBIエージェントのストルザックと彼の愛人であるFBI弁護士のページとの間の交信記録を公表したが、これは二人のトランプに対する本能的な嫌悪とクリントンに対する奴隷のような崇拜を明らかにするものだった。更に重要なのは、FBI副長官マッケイブのオフィスで反トランプの企てが行われていたことを公表資料が明らかにしたことである。フュージョンGPSのシンプソンがワシントンDCの連邦裁判所に提出した資料によれば、彼は大統領選挙の数週間後に、オーアの依頼で、ロシアと選挙について自分たちが見つけたことを議論するために司法省の職員と面会した。また同じ資料の中で、ロシア問題の専門家である元政府職員ネリーオーア（オーアの妻：筆者注）がフュージョンGPSに雇われてフュージョンGPSによるトランプに関する調査分析の支援を行ったこと、そして彼女は大統領選挙の期間中秘密裏にフュージョンGPSのために働いていたことが明らかになった。
29	2017/12/13	上院司法委員会のグラスリー委員長はストルザックとページの間の交信記録のすべてを提出するようローゼンシュタイン司法副長官に書面で要求。彼は続けて、375ページに上るストルザックとページの交信の一部が公表されたが、そこにはトランプは忌まわしい人間であるといった表現に加え、トランプが大統領に当選した場合の保険を考えておく必要がある、といった単なる個人的な政治的意見を越えた公的な措置に明らかに言及しているものがあり、それにマッケイブFBI副長官が関係している可能性があるからである、と述べている。
30	2017/12/23	マッケイブFBI副長官が辞任。 「ポリティコ」が、マッケイブの議会聴聞の翌日に彼とチームを組んでいたFBIの首席弁護士ベイカーが左遷されたのは、スティール文書のポイントを初めて「マザージョーンズ」で2016年10月31日に出版したジャーナリストのコーンと出版前に接触していたから、と報道。コーンは自らスティールにインタビューしてスティールがFBIに文書を渡し、FBIから更なる情報を求められた、とポリティコは報道したが、同じ記事の中で、米国政府上級職員で本件には関係していないが昔スパイだった者（スティール：筆者注）と知合いである者が、「当該スパイが米国政府にこれまで信頼できる重要な情報をもたらしてきた」、とコーンに述べたと報道。ポリティコによれば、上記の「上級職員」はベイカーであると下院の共和党員がポリティコに述べたとのこと。
31	2017/12/28	下院諜報委員会が元国務省人権問題担当局長で現在はマケイン研究所のシニアフェローであるデイヴ・ウィッド・クレマーを証人喚問。委員会がフォックスニュースに述べたところによれば、クレマーは2016年11月にスティールにロンドンで会い、文書のコピーをもらってこれをマケイン上院議員に帰国後に渡し、マケインは同文書を2016年12月にFBIに渡したとのこと。クレマーは1月11日に再喚問されている。
32	2017/12/29	下院諜報委員会は2018年1月3日までに、スティール及び彼が作成した反トランプのでっちあげ文書について、FBIと司法省がファイルを作成するよう命じた。これらの文書は、英国が焚きつけた反トランプの陰謀とFBIや司法省のトップ職員との関係を明確にするだけでなく、オバマと彼の諜報部門の指導者たちの役割を全て曝き出すことになるであろうと信じられている。12月28日付のローゼンシュタイン司法副長官に対する書簡で、下院諜報委員会のヌネス委員長は、誰が司法の妨害をしているかを明らかにしている。ヌネスによれば、スティール文書の使用及びそれに対する支払いに関する資料について下院が昨年8月にFBIに要求した証人喚問についてFBIと司法省はいかさまカードゲームをしてきた。8月の下院の照会に対し司法省はスティール文書に関しFBIの調査資料は存在しないと答えたのに、12月にヌネスがローゼンシュタインに会う直前になって、そのような資料が数多く存在することが分かった。更に資料の存在にとどまらず、これには司法省とFBIの高官が関係しており、委員会調査における彼らの役割が白日の下に晒されてくると、彼らは別の部署にいち早く配置替えとなった。更に司法省はスティール文書に関して、FBIと秘密の情報提供者との間の面会に関するFBIの記録の作成を拒否してきた。ヌネスは更に以下の人物とのインタビューの日の特定を要求している。前司法省準副長官オーア（彼はスティールと承認を受けずに面会し、彼の妻のネリー・オーアはスティールの米国のビジネスパートナーであるフュージョンGPSに雇われて、スティールによるトランプ／ロシアプロジェクトのために働いていた）、FBIのストルザックとページ（ともにスティール文書に深く関与した反トランプファイター）、前FBI弁護士でコーミーの腹心のベイカー、FBIの弁護士のモイヤー、FBIの議会担当局長のブラウナー。
33	2018/1/3	夕方にローゼンシュタイン司法副長官とレイFBI長官が下院議長のポール・ライアンに面会。その後二人はヌネスに面会。面会後にヌネス委員長は、下院諜報委員会は司法省と合意し、委員会が要求してきた全ての資料と証人について司法省はアクセスを与えることになったので、近々資料についての具体的なアクセスが得られることを期待していると説明。夕方に上院司法委員会のグラスリー委員長はローゼンシュタイン司法副長官に書簡を送り、コーミー前FBI長官がトランプ大統領と自分との会話を記録したメモの受け渡し記録の提出期限を1月17日に設定した。後にコーミーはこのメモの一部をコロンビア大学ロースクールのリッチマン教授と共有することになった。リッチマンは後にメモの一部をニューヨークタイムズのレポーターに読んで聞かせた。（グラスリー委員長の言っていることは、コーミーが秘密情報をリークした、ということに等しい：報道注）
34	2018/1/4	ローゼンシュタイン司法副長官とレイFBI長官との合意を確認する形でヌネス下院諜報委員会委員長は書簡を发出。この書簡で委員長は、どのような要求資料が、委員会の調査官とスタッフ、共和党員、民主党の有力議員にいつまでに渡されるべきか、また、8名のFBIと司法省の職員（オーア、ストルザック、ベイカー、ページ、モイヤー、ブラウナー、ブリースタッフ、ルイビキー）が1月中旬にインタビューに応じられるべきことを個別に示している。また8月24日の委員会要求に対応したFBIの全ての書類に対するアクセスが1月5日に与えられることも書簡に含まれている。また、ストルザックとページの間の残余の約9,500のテキストメッセージを1月11日までに探し出すことが書簡で求められており、同様に1月11日までに2017年4月の当時のワイスマン司法省弁護士（現在はムラーのシニア弁護士）とマスメディアとの関係のあらゆる記録を提出することとされている。

35	2018/1/8	<p>ワシントンで著名な弁護士のディージェノーウ`ァがワシントンのラジオステーションWMAZ Monday Morningでトランプ大統領に対するFBIと司法省の陰謀の概要を説明した。彼は極めて愛国的な共和党員であるが、下記のような彼の爆弾発言はワシントンの保守的な法律家や政府関係者の間で広く議論されていることを代表している。彼はトランプに対する彼らの運動を反逆と呼び、間もなく陰謀に加担した者の刑事訴追が始まると予測している。彼はコーミーを死に体と呼び、ジョン・ブレナンは米国の歴史上もっとも腐敗した政治色の強いCIA長官となると述べている。個別の点は以下の通り。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 国家安全保障局（NSA）のマイク・ロジャース提督が2016年初めにオバマ政権による外国情報監視法702条違反の盗聴を発見しNSAの内部調査を命令するとともに、この違法行為を秘密連邦裁判所（FISA）に報告した。これがブレナンとクラッパーがロジャースをNSAから解任しようとした理由である。2. 2016年11月17日にロジャースはトランプにトランプタワーが盗聴されていると告げ、この結果トランプはニュージャージー州ベドミンスターカントリークラブに政権移行の業務を移すことになった。3. スティール文書がFISAに盗聴の許可をとる根拠だったが、司法省はFISAに対し申請の根拠となる文書が、英国起源のものであり、民主党前全国委員会とクリントンが費用を負担し、FBIが一度も検証していないものであることを告げていなかった。4. 司法省の国家安全保障理事会のトップであったジョン・カーリンは選挙の前に司法省とFBIの違法行為を理由として辞任した。5. ルドルフ・コントレラス判事はマイケル・フリンの有罪答弁の議長をしたが、その後自分自身を案件から忌避した。その理由はフリンに関するFISAの令状を彼が再検討したから、というのがディージェノーウ`ァの見方である。6. クリントンのEメールの調査のやり方に関する司法省総監の保留中の調査は刑事処分という結果になるであろうし、FBIやロレッタ・リンチの下の司法省国家安全保障課の行動に関し大陪審が選出されることになろう。7. ディージェノーウ`ァは、ドナルド・トランプの対情報調査機関のFBIの行動について、43名の元FBI職員から手紙を受け取っている。8. これらのこと及び、トランプへの政権移行に関する違法な監視におけるスーザン・ライスなどの役割は下院諜報委員会に知られており、その報告の一部を構成することになるであろう。
----	----------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------